

日本体力医学会定例理事会（2013年5月）議事録

日 時：2013年5月10日（金）午後5時30分～7時30分

場 所：東京八重洲ホール 411会議室

議 長：下光輝一理事長

出席者：下光輝一、荒尾 孝、碓井外幸、大野 誠、
小野寺昇、勝村俊仁、川久保清、川原 貴、
栗原 敏、坂本静男、定本朋子、下村吉治、
鈴木政登、武政 徹、竹森 重、田中喜代次、
田畑 泉、永富良一、西平賀昭、浜岡隆文、
福永哲夫、吉岡利忠（各理事）
管原正志（第69回大会長・長崎）

欠席者：田中宏暁、福林 徹、山内秀樹（各理事）、
小林康孝、能勢 博（各監事）

【審議事項】

1. 前回議事録の承認

理事会開催中に各自で議事要旨の内容確認を行い、訂正等がある場合は申し出ていただくこととし、理事会終了後に承認とすることとした。また、議事録署名人として田中（喜）、永富理事が指名された。

2. 日本医学会会費について（下光理事長）

2013年2月20日に日本医学会の評議員会が開催され、日本医学会に属している学会は今後年会費が発生し、日本体力医学会の場合は年間約55万円（基本料金5万円＋会員数約5,000人×100円）となる旨、説明がなされた。今後日本医学会から関連資料が届き次第、再度理事会で検討していくこととなった。

3. マラソンに取り組む市民ランナーの安全10か条について（川久保ガイドライン委員長）

理事会前に役員の方々に確認をいただいていた、日本体力医学会ガイドライン検討委員会と公益財団法人日本陸上競技連盟医事委員会が共同で策定し、NPO法人ニッポンランナーズ理事長の金哲彦先生による外部評価を受けた標記のガイドラインについて説明があり、承認された。本ガイドラインは学会HPと学会誌に掲載していくこととなった。

4. 日本体力医学会の立場表明について（川久保ガイドライン委員長）

理事会前に役員の方々に確認をいただいていた、平成25年3月18日に公表された「健康づくりのための身体活動基準2013・身体活動指針（アクティブガイド）」に対する日本体力医学会としての立場表明（ガイドライン検討委員会草案作成）について説明があり、承認された。本立場表明については学会HP及び学会誌に掲載していくこととなった。

5. 健康科学アドバイザーの更新限度について（碓井称号委員長）

健康科学アドバイザーの称号は5年に1度の更新を設けているが、更新をせずに辞めていく方が多数おり、人数が減少傾向であるとの状況が説明された。改善案として、ある回数更新をした方には永久的に健康科

学アドバイザーとしてはどうかと提案され議論がされた。更新費用や更新回数等を整理し、次回7月の理事会で再度審議することとなった。

6. 定款改定について（小野寺総務委員長）

4月下旬をメ切と設定していたパブリックコメントについて、1件のパブリックコメントがあり、総務委員会から返答をする旨、報告がなされた。次回7月の理事会で成案として定款（案）を理事会に提示し、9月の総会にて承認を得たい旨、今後のスケジュールが説明され、継続審議していくこととなった。

7. 利益相反委員会について（小野寺総務委員長）

利益相反委員会規定の原案が理事会に提示され、承認された。

総務委員会で作成した利益相反に関する声明文の前文「体力医学研究の倫理に関する基本的な考え方」、前回理事会にて作成依頼をされ倫理委員会で作成した「インフォームド・コンセント宣言」「人権に関する宣言」「動物の権利に関する宣言」が理事会に提示された。細かい言い回しについては今後改定をしていくことを前提に承認された。本理事会で提示された利益相反に関する声明文を日本語から英語に翻訳し、7月の理事会にて提示することとなった。

また、倫理委員長である坂本理事が利益相反委員会委員長として推薦され、承認された。委員会委員について次回理事会にて提案することとなった。

8. 理事会日程について（下光理事長）

11月理事会を11月22日（金）と設定していたが、多数の理事が他学会の大会に参加予定の為、11月29日（金）に変更となった。

【報告事項】

1. 各種委員会報告

1) 総務委員会（小野寺委員長）

・第70回和歌山大会について

和歌山県立医科大学と接触を行った旨、大会長の候補者を7月の理事会に提案予定である旨、報告がなされた。

・第71回岩手大会について

岩手医科大学より連絡があり、接触するスケジュールを立てている段階である旨、報告がなされた。

2) 学術委員会（碓井委員長）

・スポーツ医学研修会実行委員会（碓井学術委員長）

今年の研修会は2013年7月6日7日、8月9日10日で行われる旨、説明がなされた。

現在の申込状況は開催確定の20名に満たない状態である旨、報告がなされた。

・称号委員会（碓井委員長）

健康科学アドバイザーの商標登録は法人化された後に手続きを行う旨、報告がなされた。

・プロジェクト研究委員会（田中（喜）委員長）

4月末を応募メ切と設定していたプロジェクト研究について、3件の応募があったこと、7月の理事会にて採択プロジェクトを提案し、承認をいただく予定であること等報告がなされた。

3) 編集委員会 (鈴木委員長)

昨年の12月1日に英文誌をMEDLINEに登録申請を行ったが、「利益相反に関する声明」「インフォームドコンセントに関する声明」「人権・動物権に関する声明」の3つがHPに掲載していなければならぬとJ-STAGEから回答があり申請が通らなかったこと、学会HPに上記声明文を掲載していないと、PubMedには掲載できない状態であること等、報告がなされた。また、トムソンロイター社にインパクトファクターの算出をお願いしたところ、論文数がないと算出できない旨、報告がなされた。論文数を増やすために、現在レビューを中心に行っていること、オリジナル論文は58編あるが、掲載された論文は17編(海外はアジアから1編しか掲載されていない)であること等、報告がなされた。次の号は6月10日に体力科学・JPFISM、それぞれ10編ずつ掲載予定、JPFISMに掲載されるオリジナル論文は2編である旨、報告がなされた。

4) 渉外委員会 (永富委員長)

ACSMが5月末、ECSSが6月末に開催される旨、報告がなされた。ECSSは2名のシンポジストを公募した結果2名の応募があり採択した旨、報告がなされた。ACSMは5名の応募の内、3名が採択された旨、報告がなされた。

ECSSは今年で15周年記念であり、勝村理事と永富理事がECSSに対してコメントを送った旨、報告がなされた。

また、9月22日からアジアスポーツ医学会(AFSM)学術大会がクアラルンプールで4日間、開催予定である旨、報告がなされた。

5) 広報委員会 (武政委員長)

配布資料により、学会HPについて委員会で議論がされた旨、報告がなされた。全体的に地味なイメージがある点、新着情報に古い情報が掲載されている

点、賛助会員のHPとリンク設定を行うようにする点等、改善すべき事項について委員会内で議論され、今後改善を順次行っていく予定である旨、報告がなされた。

6) 男女共同参画推進委員会 (田畑委員長)

前回理事会で議論した男女共同参画学協会連絡会への入会の件について、5,000円+会員数で最高2万円を来年度予算に組み込んでいただきたい旨、提案がなされた。

2. 第68回(東京)大会の進捗状況

(竹森第68回大会事務局長)

配布資料により以下の報告がなされた。

- 1) 事前参加申し込み人数: 76名(2013年5月10日 14:00現在)
- 2) 一般口演演題登録件数: 74題(2013年5月10日 14:00現在)
- 3) その他

特別講演、海外招待講演、予定シンポジウム/ワークショップの仮題(オーガナイザーまたはコーディネーター)、共催ランチョンセミナー、都民公開講座、機器展示申込数、予稿集広告申込数等の準備状況が報告された。

3. 第69回(長崎)大会の進捗状況(管原第69回大会長)

配布資料により以下の報告がなされた。

- 1) 大会主題について(案)
長崎遊学~健康増進を支える体力医学~
- 2) 大会プログラムについて
 - ・予防医学
 - ・体力
 - ・栄養
 - ・環境適応
 - ・(アウトリーチ)
- 3) 大会会期・会場について
会期:平成26年9月19日(金)・20日(土)・21日(日)
会場:長崎大学文教キャンパス

第15回日本体力医学会北海道地方会開催のご案内

日 時:平成25年8月16日(金)~17日(土)
会 場:16日(金) オホーツク・文化交流センター
(エコーセンター 2000)
(〒093-0072 網走市北2条西3丁目3番地)
17日(土) 東京農業大学生物産業学部
(〒099-2493 網走市八坂196)

当番幹事:桜井智野風(東京農業大学生物産業学部)

16日(金) 受付(午後12時~)

一般発表(午後1時~)

シンポジウム(午後3時~)

運動時の体温調節と水分補給

座長:桜井智野風先生(東京農業大学)

シンポジスト:伊藤静夫先生(日本体育協会)
長谷川博先生(広島大学)

懇親会(午後7時~)

17日(土) ワークショップ(午前9時~)

運動時における外側前頭前野の活動

~NIRSを用いた測定~

ファシリテーター:後藤広太郎先生(東京農業大学)

網走市内見学(午前11時~)

散会(午後)

交通:札幌より貸切バス

お問い合わせ:〒099-2493 網走市八坂196

東京農業大学 健康科学研究室

Tel&Fax:0152-48-3930

E-mail:t3sakura@bioindustry.nodai.ac.jp

「第30回筋肉の会」・「第30回筋電図の会」のご案内（第2報）

日 時：平成25年9月20日（金）15：00～17：00

第68回日本体力医学会大会前日

会 場：

「筋肉の会」

東京慈恵会医科大学西新橋校・本館前棟西講堂

「筋電図の会」

東京慈恵会医科大学西新橋校・本館前棟1階

第2会議室

演 題：

「筋肉の会」

1. 鈴木友子 先生

（独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
神経研究所遺伝子疾患治療研究部室長）

「NO（一酸化窒素）は骨格筋の肥大及び萎縮の
制御因子である」

2. 宇高 潤 先生

（東京慈恵会医科大学整形外科学講座）

「整形外科領域における筋肉研究の諸問題」

「筋電図の会」

1. 加茂美冬 先生（日本女子体育大学）

「随意筋力調節における運動単位の放電頻度変化」

2. 斎藤 慧 先生（新潟医療福祉大学）

「電気刺激が運動イメージおよび随意運動に伴う
皮質脊髄路の興奮性変化に及ぼす影響」

参加費：1,000円（事務連絡費, 会場費, AV機材借用費等）
研究会の当日, 受付にて申し受けます。

懇親会：研究会終了後に「筋肉の会」と「筋電図の会」
の合同で行います。（懇親会のみへご参加頂ける
方も大歓迎です）。場所は東京慈恵会医科大学
高木会館2号館地下1階「リーベ」で会費は
4,000円です。

世話人：

「筋肉の会」

東京慈恵会医科大学分子生理学講座体力医学研究室
山内秀樹

〒182-8570 東京都調布市国領町8-3-1

TEL：03-3480-1151 内線2445, FAX：03-3480-4591

e-mail：yamauchi@jikei.ac.jp

「筋電図の会」

千葉大学教育学部保健体育教室 小宮山伴与志

〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33

TEL：043-290-2621, FAX：043-290-2519

e-mail：komiyama@faculty.chiba-u.jp

The 5th CEPA Japan

～臨床運動指導専門家の社会的台頭を目指して～

日 時：2013年9月8日（日）13：00～15：30

会 場：あいち健康の森健康科学総合センター

（愛称：あいち健康プラザ）プラザホール3

〒470-2101 愛知県知多郡東浦町大字森岡字源吾山1-1

参加費：無 料

プログラム：

1. 開催の挨拶 13：00～13：05

関西医科大学 木村 穰 先生

2. 臨床運動指導士の現場から 13：05～13：20

「兵庫県豊岡市からの報告：心臓病患者も歩きたく
なるまちづくり。」

大阪産業大学 佐藤真治 先生

3. 講演① 13：30～14：00

「大学施設協議会が考える健康運動指導士の育て方」

立命館大学 真田樹義 先生

講演② 14：00～14：30

「指定運動施設連絡協議会が考える健康運動指導
士の生かし方」 未 定

4. 総合討論 14：30～15：30

「臨床運動指導専門家の社会的台頭を目指して」

司会 木村 穰 先生

佐藤真治 先生

後 援：

CEPA（アメリカスポーツ医学会）、NPO法人日本健康
運動指導士会、（社）メディカルフィットネス協会、日
本エアロビクス協会（JAFA）、日本運動療法推進機構

主催・お問い合わせ：

CEPA Japan事務局

大阪産業大学人間環境学部スポーツ健康学科 佐藤真治

E-mail: shinjisato2005hawaii@yahoo.co.jp

Tel: 072-875-3001 / Fax: 072-875-3029

公益財団法人 明治安田厚生事業団 第30回 若手研究者のための健康科学研究助成 応募要項

研究テーマ：

- a. 指定課題：運動とメンタルヘルス
b. 一般課題：健康増進に寄与する学術研究
※いわゆる疾病の治療そのものに関するテーマは除く
※研究者1人につき、aかbのいずれか1件のみ応募可

主催：公益財団法人 明治安田厚生事業団

後援：日本体力医学会・明治安田生命保険相互会社

選考委員（敬称略・五十音順）

- 委員長：福永哲夫（鹿屋体育大学学長）
委員：井澤鉄也（同志社大学教授）
委員：定本朋子（日本女子体育大学教授）
委員：下光輝一（公益財団法人健康・体力づくり事業財団理事長）
委員：新開省二（東京都健康長寿医療センター研究所研究部長）
委員：永松俊哉（公益財団法人明治安田厚生事業団体力医学研究所所長）

応募資格と条件

健康科学研究に従事し、修士以上の学位を有する方（医学・歯学の学士などを含む）

40歳未満（申請時）で、所属する部署の所属長あるいは指導教官等の推薦を受けた方

※ただし、第29回（前年度）の本研究助成対象者は除く

応募の方法

所定の申請書ファイルを、研究助成ホームページからダウンロードして作成してください

作成した申請書ファイルは事務局メールアドレスにお送りください

締切日：平成25年8月23日（金）必着

選考結果の発表：平成25年10月下旬に本人宛書状で通知

助成の金額：総額1,500万円

a. 指定課題：1件につき100万円

b. 一般課題：1件につき50万円

研究成果の報告

助成決定者は研究の成果を短報形式の報告書にまとめ、平成27年2月27日（金）必着で提出（詳細は助成決定後、該当者に連絡）

同報告書等事業団の発行する健康科学研究助成成果報告に掲載する

なお、対象研究を他に発表する場合は、公益財団法人明治安田厚生事業団研究助成による研究であることを明記する

留意事項

営利を目的とする研究や、すでに完了している研究は対象としない

申請内容（題目、共同研究者、目的、方法など）については、やむを得ない場合を除いて改変を認めない

申請書のダウンロード

<ダウンロード>

URL：http://www.my-zaidan.or.jp/josei/

申請書の提出・問い合わせ先

<提出・問い合わせ>E-mail：josei@my-zaidan.or.jp

公益財団法人 明治安田厚生事業団体力医学研究所
研究助成事務局

〒192-0001 東京都八王子市戸吹町150

TEL 042-691-1163 FAX 042-691-5559

第27回 女性スポーツ医学研究会学術集会

日時：平成25年12月7日（土）13時～17時

場所：東京慈恵会医科大学 西講堂

東京都港区西新橋3-19-18

地下鉄三田線 御成門A5出口 徒歩3分

プログラム：

特別講演…

演者：全日本柔道連盟強化副委員長・女子強化部長
筑波大学柔道部コーチ 増地千代里先生

教育講演…

演者：埼玉医科大学産婦人科 難波 聡先生

特別講演には第1線で活躍されたアスリートで、現在若手選手の指導に当たっている女性指導者に、現役時代のお話や今指導者になられて考えることなどを講演いただきます。

教育講演は女性アスリートの月経困難症対策について予定しています。

参加費：会員3000円・非会員4000円

お問い合わせ先：

女性スポーツ医学研究会事務局

〒206-8512 東京都多摩市永山1-7-1

日本医科大学多摩永山病院女性診療科・産科医局

担当 川端伊久乃

電話 042-371-2111 FAX 042-372-7372

HP http://sowsm.umin.jp/index.html

編 集 後 記

体力科学第62巻4号をお届けします。本号には総説1編、原著論文6編、資料1編が掲載されています。英文誌、インパクトファクターなどが重視され、邦文誌の立ち位置が難しくなる中で、毎号着実に原著論文が掲載されている本誌の現状は概して堅実であると思います。

最近、渉外委員会等の関係でアメリカスポーツ医学会など海外の学会の関係者とお話しをする機会が増えました。その際に日本体力医学会がどんな学会なのかということの説明しなければなりません。そうした時につくづく感じることは日本体力医学会、そして本誌の歴史の古さです。例えば、体力科学はこの分野で最もインパクトファクターが高く、権威がある雑誌の一つMedicine and Science in Sports and Exercise（アメリカスポーツ医学会の機関紙、現在第44巻）よりも長い歴史を持っています（体力科学の創刊は1949年であるのに対して、

Medicine and Science in Sports and Exerciseの創刊は1969年。また、学会の年次集会は、日本体力医学会の2013年東京大会が第68回なのに対して、アメリカスポーツ医学会の2013年インディアナポリス大会は第61回となっています）。歴史の長さがそのまま高い価値につながるとは必ずしも言えませんが、第62巻という数字にはそれなりの価値と重みがあるように感じられます。

諸先輩方が築かれた本学会の歴史を感じつつ、日本語で研究成果を公表することの意味、本誌の役割を考え、編集のお手伝いさせていただきたいと考えています。会員の皆様におかれましては良い原著論文をたくさんご投稿くださいますようお願いいたします。

井上 茂

The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.62, No.4

体 力 科 学 第 62 巻 第 4 号

平成 25 年 7 月 25 日 印 刷

平成 25 年 8 月 1 日 発 行

編 集 兼 発 行 者	鈴木 政 登
発 行 所	〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4階 一般社団法人 学会支援機構 日本体力医学会
編 集 事 務 局	〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1 鶴岡印刷株式会社内 「体力科学」編集事務局 TEL・FAX(共通) 0235-22-3120 E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp
印 刷 所	〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1 鶴岡印刷株式会社
